

水産宮崎

SUISAN MIYAZAKI



2014
08 No.658

国民に安定して水産物を供給するために



平成 26 年度事業推進会議



水産振興施策に対する要望

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

水産振興施策に対する要望

生存対策講習会
(サバイバル・トレーニング)

平成26年度細島港沿海岸海難救助訓練

平成26年7月属人水揚げ表

平成26年7月漁業生産統計

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

JF経営指導宮崎県委員会開催

JF全国監査機構・漁協監査部全体会議

全国漁連(漁協)・信漁連指導担当部課長会議

BUSINESS

業務情報

鹿児島市で九山地区の 購買担当者会議

e-かんばち

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

宮崎イセエビを食べよう!! (宮崎イセエビいただきマンス'14始まる!!)

衛生管理講習会が開催される!!

水産会館周辺を一斉清掃

コンプライアンス研修会

平成26年度第1回管理職会議

平成26年度安全衛生委員会

平成26年度事業推進会議

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

藻場造成活動の成功例

～北浦ハイの浜における取組～増養殖部

7月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県藻場干潟等保全地域 協議会 平成26年度通常総会

平成26年度九州漁港漁場大会

7月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

水産振興施策に対する要望

本 県の水産業の振興につきましては、予てより格段のご高配を賜り、衷心より深く感謝申し上げます。

さて、ご高承のとおり、水産業は国民に食料を供給する大変重要な産業ですが、世界的な人口の増加や新興国での所得水準の向上による食料の需給が増大する中で、魚食文化が根付いた我が国の国民に安定して水産物を供給するためには、我が国の水産業が健全な状態で維持されていくことが極めて重要であります。

しかしながら、水産業を取り巻く諸情勢につきましては、漁獲量の減少や魚価の低迷により漁業収入が減少する一方で、燃油価格の高騰等による漁業経費の増大で、収益性が著しく低下し、中には廃業を余儀なくされる者も見受けられるなど、極めて厳しい経営状況を強いられております。

このような状況下にあつて、水産業が就業先としての魅力を失い、次代を担うべき若者の加入が進まず、顕著な高齢化と漁業者の減少で、本県水産業の存続が危機的な状況にあります。

このため、我々漁業系統団体としては、魅力ある水産業づくりに向けて、本県水産業の抜本的な立て直しに取り組んでいるところであります。

つきましては、現状をご賢察頂き、漁業の存続、漁業振興及び経営の安定を図るため、下記事項の実現に向け、特段のご配慮を賜りますようお願いを申し上げます。



要望事項

[1] 水産日本の復活の実現に向けた燃油高騰緊急対策の継続・強化

- (1) 漁業経営セーフティーネット構築事業および平成26年度末限りとされている漁業用燃油緊急特別対策の継続・強化を図ること。
- (2) 平成25年度補正予算で措置された「省燃油活動推進事業」ならびに「省エネ機器等導入推進事業」をはじめとした漁業用燃油高騰・コスト低減対策の継続と所要額の確保を図ること。

[2] 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の恒久化

- (1) 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置を恒久化すること

[3] 金融支援の実施・継続

- (1) 漁船・養殖施設整備緊急融資利子補給事業の継続について
- (2) 漁業近代化資金の最長償還年数の延長について

[全漁連・県漁連総会特別決議]

1. 水産日本の復活の実現に向けた燃油高騰緊急対策の継続・強化

水 産物消費の減退と価格下落による大幅な収入の減少に加え、コストの多くを占める燃油や餌飼料価格の高騰によって、我が国漁業が危機的な状況に追い込まれている中、政府・与党の連携により、昨年7月より「漁業用燃油緊急特別対策」、本年2月の平成25年度補正予算において「漁業コスト構造改革緊急対策」が実現した。我々漁業者は、これらの対策を活用し、浜の活力再生プランの実践に取り組み、燃油価格に振り回されない強い漁業の構築に取り組んでいく。

しかしながら、未曾有の危機に直面している浜の再生は、一朝一夕で成し遂げられるものではなく、一定の期間を要する。

福島第一原発事故による風評被害をも克服し、真に水産日本の復活を目指すためには、漁業コストの大宗を占める燃油対策の継続・強化が不可欠であり、コスト低減のための次の政策の実現を強く求める。

- (1) 漁業経営セーフティーネット構築事業および平成26年度末限りとされている漁業用燃油緊急特別対策の継続・強化を図ること。
- (2) 平成25年度補正予算で措置された「省燃油活動推進事業」ならびに「省エネ機器等導入推進事業」をはじめとした漁業用燃油高騰・コスト低減対策の継続と所要額の確保を図ること。

2. 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の恒久化

燃油や資材価格の高騰、漁獲量の減少や魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にある。加えて、東日本大震災により我が国漁業は壊滅的な被害を受け、復興に向けて全国の漁業者は一丸となって取り組んでいるところであるが、原発事故の風評被害等によって、水産物の消費の減退と魚価の低迷については一層深刻の度を増している。

このような中、燃油価格はかねてからの高騰に加え、昨今の円安の進行により急激に上昇しており、結果として廃業を迫られる漁業者も出現している。

燃油は操業において不可欠なエネルギーであるが、漁業においてはコストに占める燃油費の割合が極めて大きく、燃油価格の上昇は直ちに漁業経営を圧迫する。漁業者は省エネ操業に取り組むなど、日々努力を重ねているものの、事態は我々漁業者の努力の範疇を超えている。

農林漁業の用途に供する軽油については、時限的に免税措置が講じられているが、燃油価格の上昇も含め、これ以上の負担の増加となることは、漁業者を更に廃業へ追い込むこととなる。

よって、国民に対する水産物の安定供給を担う我々漁業者の経営安定のため、以下について要望する。

(1)漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置を恒久化すること

[重点要望事項]

3. 金融支援の実施・継続

燃油高騰や魚価安など、漁業環境は改善の兆しが見えない状況が続いており、経営はさらに厳しくなっております。

我が国漁業が存続し、水産食料の安定供給等の責務が果たせるよう、金融支援の実施・継続をお願いいたします。

(1)漁船・養殖施設整備緊急融資利子補給事業の継続について

借入により漁船建造等設備投資を行う場合、漁業者の金利負担軽減を図るため、漁船・養殖施設整備緊急融資利子補給事業の継続実施と近代化資金を利用する場合においても公庫資金と同様の融資枠で対応頂きたい事業内容の拡充をお願いいたします。

(2)漁業近代化資金の最長償還年数の延長について

漁業者は、漁船等漁業設備の品質向上と自らの努力によって設備更新期間を延長してきました。加えて、漁業燃油の高騰等、厳しい漁業経営を反映して、設備の更新期間を更に延長せざるを得ない状況となっております。このため、設備使用年数と償還期限が大幅に乖離するなど、実態にそぐわない部分が見られることから、漁業近代化資金融通法施行令の見直しによる最長償還年数の延長をお願いいたします。

生存対策講習会(サバイバル・トレーニング)

7月22日(火)、川南漁協会議室及び同漁協前岸壁において、漁業者、漁協職員、その他団体等合わせて、約90名の参加者のもと生存対策講習会が開催された。内容は次のとおり

①座学(漁協会議室)

・「生き抜くために」 船員災害防止協会 安全管理士 長谷川 澄

②実技(漁協前岸壁)

・「膨張式救命筏等の操作について」 船員災害防止協会 豊崎 嘉弘、宮崎県漁連 松岡 真史

筏の取扱い方法、艀装品の使用方法を説明後、実際に膨張式救命筏を投下し、漁業者2名が海に飛び込んでデモンストレーションを行った。

平成26年度細島港沿岸海難救助訓練

平成26年7月14日に、日向市伊勢ヶ浜において、宮崎県海難救済会による海難救助訓練が実施された。参加者総数約100名であった。

訓練1	水難救済所を中心とした漂流者救助訓練
訓練2	消防及び海保合同による漂流者救助訓練
訓練3	学校教育関係者に対する水上安全教室及び救助訓練
訓練4	ライフセーバーによる漂流者救助の展示訓練

平成26年7月属人水揚げ表

漁協名\区分	7月分			7月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	4,445	248,953	56	26,881	2,353,254	88	21,511	1,484,280	69	5,370	868,973	26.9
島浦町	986	135,464	137	7,486	1,119,380	150	6,416	1,009,850	157	1,071	109,530	-5.0
延岡	9	3,554	411	324	103,537	319	408	97,913	240	-83	5,623	32.9
延岡市	57	19,268	340	593	312,399	527	662	290,414	439	-69	21,985	20.1
庵川	195	50,225	257	836	389,297	466	749	369,062	493	87	20,235	-5.5
門川	61	32,484	529	225	117,841	523	260	114,051	438	-35	3,790	19.6
日向市	177	112,026	634	2,373	1,391,872	587	2,573	1,536,804	597	-200	-144,932	-1.8
都農町	33	17,626	537	302	190,488	631	260	167,568	644	42	22,920	-2.1
川南町	164	98,010	597	1,804	1,140,375	632	1,744	1,163,480	667	60	-23,105	-5.3
一ツ瀬	11	8,716	767	92	61,686	671	100	65,427	652	-9	-3,742	3.0
憶浜	5	3,469	733	79	31,422	397	106	41,833	393	-27	-10,412	0.9
宮崎	44	15,538	349	624	264,707	424	880	318,067	362	-256	-53,359	17.3
宮崎市	68	35,610	520	663	333,508	503	612	292,157	477	51	41,351	5.4
日南市	515	186,415	362	3,791	1,636,543	432	5,334	1,887,434	354	-1,543	-250,892	22.0
南郷	2,117	617,114	292	10,557	3,505,966	332	14,201	3,999,779	282	-3,644	-493,813	17.9
栄松	145	40,322	278	953	329,109	346	1,292	381,101	295	-340	-51,992	17.2
外浦	887	274,334	309	5,106	1,731,874	339	6,335	1,700,320	268	-1,229	31,554	26.4
串間市東	43	24,635	575	1,226	436,110	356	896	322,529	360	330	113,581	-1.2
串間市	413	226,873	550	4,521	2,551,658	564	4,761	2,553,090	536	-239	-1,433	5.2
合計	10,375	2,150,639	207	68,435	18,001,025	263	69,100	17,795,161	258	-665	205,863	2.1

人と自然との調和

漂白剤

薬用ソルトハミガキ

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

平成26年7月漁業生産統計

漁協\漁業種類	かつお 一本釣	まぐろ 延縄	旋網	曳縄	底曳網	船曳網	定置	養殖	その他	合計
北浦			4,372		29		38	2	5	4,445
			225,351		9,009		9,312	2,378	2,903	248,953
島浦町		48	869	0			15	50	2	986
		33,546	47,890	158			4,362	48,641	866	135,464
延岡				1	3	4	0		1	9
				751	1,526	864	36		376	3,554
延岡市	3			0	21	1	21	0	11	57
	1,173			96	7,053	434	5,321	43	5,148	19,268
庵川	11	22	97		7		44	12	3	195
	5,859	16,947	6,922		3,098		8,731	6,580	2,088	50,225
門川	3	9			13	34		0	2	61
	1,763	8,016			4,707	16,357		12	1,630	32,484
日向市	27	114		0	0	0	27		8	177
	9,168	89,949		71	108	15	8,975		3,740	112,026
都農町		18		0					15	33
		11,831		12					5,784	17,626
川南町		92		1	0				71	164
		72,177		518	264				25,052	98,010
一ツ瀬				1	3				8	11
				631	1,421				6,664	8,716
櫛浜					1	1			2	5
					645	357			2,468	3,469
宮崎		19					21		5	44
		7,755				4,792			2,991	15,538
宮崎市	39	12	5	6	3	2			2	68
	22,771	2,555	2,603	4,097	482	1,008			2,095	35,610
日南市	435	43	15			9			12	515
	150,319	20,628		7,286		4,186			3,997	186,415
南郷	2,043	39	32			1			2	2,117
	585,243	13,243	16,868			534			1,226	617,114
栄松	139	3	3						0	145
	35,391	2,994	1,820						117	40,322
外浦	850	36					1		0	887
	253,816	19,829					460		230	274,334
串間市東		6		20			15		2	43
		4,243		12,495			5,869		2,028	24,635
串間市				2	0	0	2	405	3	413
				969	189	954	671	221,593	2,497	226,873
合計数量	3,510	487	5,350	80	84	64	175	469	156	10,375
〃 金額	1,042,732	323,927	282,718	44,279	32,118	24,255	49,466	279,247	71,899	2,150,639
(魚価)	297	664	53	555	384	377	282	595	462	207
前年数量	5,381	641	7,046	87	118	104	178	505	233	14,292
〃 金額	1,154,456	419,497	345,245	43,556	39,127	33,813	50,350	324,958	131,613	2,542,614
(魚価)	215	655	49	502	332	326	282	644	564	178
数量増減	-1,870	-153	-1,696	-7	-34	-39	-3	-36	-78	-3,917
〃 対比(%)	-34.8	-23.9	-24.1	-8.0	-29.1	-38.0	-1.7	-7.1	-33.3	-27.4
金額増減	-111,724	-95,570	-62,527	723	-7,009	-9,558	-884	-45,711	-59,714	-391,975
〃 対比(%)	-9.7	-22.8	-18.1	1.7	-17.9	-28.3	-1.8	-14.1	-45.4	-15.4
魚価増減	82	10	4	53	52	51	-0	-48	-102	29
〃 対比(%)	38.5	1.5	7.9	10.5	15.8	15.6	-0.1	-7.5	-18.0	16.5

FISHING POLITICS

JF経営指導宮崎県委員会開催

J F経営指導宮崎県委員会は、7月28日(月)、宮崎県水産会館において第2回委員会を開催し、提出した議案について協議を行い、承認決定となった。

JF全国監査機構・漁協監査部全体会議

全 漁連およびJF全国監査機構は、7月31日(木)、コープビル(東京都)において、JF全国監査機構・漁協監査部全体会議を開催した。

会議については、漁協監査部に所属する県域責任者および出向者を対象とした新一般監査に関する説明事項が中心であり、昨年度の監査実施結果の総括と今年度以降の方針の説明があり、その後、意見交換が行われた。

全国漁連(漁協)・信漁連指導担当部課長会議

全 漁連は、7月30日(水)、TKP大手町ビジネスセンター(東京都)において全国漁連(漁協)・信漁連指導担当部課長会議を開催した。

会議の内容については、今後策定予定のJFグループの次期運動方針についての説明事項が中心であり、JFグループの来年度からの5か年で取り組む方針の骨子についての説明となった。

忘れてませんか? あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用 していますか?

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

JFライフジャケットA

(自動膨張式救命胴衣)

商品特徴

- ポケットと背中に、系統ロゴマーク「JF」刺繍入り。
- 海中転落事故の捜索費用の助成を目的とした保険を付与。
- ナイロンジャージ素材の襟付きで、首にソフトタッチ。
- 重量わずか540g。
- 浮力11.3kg(体重110kgの方でも大丈夫です。)
- マチ付きポケット採用。
(携帯電話等を入れることができます。)
- ポンベスプール(別売)を交換すれば、何度でも使用可能。
- ホイッスル・エア吹入補助バルブ・緊急手動レバー・反射リフレクター付き。
- 自動膨張式なので、泳ぎが苦手な方も安心。
- 国土交通省型式承認番号:第4458号。

鹿児島市で九山地区の購買担当者会議

九州・山口地区の各県漁連・漁協購買担当者が一堂に会する「九山G会」(JF全漁連主催)が7月4日(金)鹿児島市の城山観光ホテルで開催された。

開催県を代表してJF鹿児島漁連購買事業部・青野次長の歓迎挨拶に始まり、JF全漁連・岩山参事が主催者として辞を述べ、協議に入った。協議は石油部門、資材部門に分けて、各県が取扱実績・計画を報告、これからの取り組みや要望事項を提案した。宮崎県漁連としては、原油価格が高止まりを続け、燃油価格は高値で推移することが予想される一方で、国際商品である石油は構造的に業界の努力だけでは対応に限界があることから、政策的な緩和対策、セーフティーネットや省燃油活動推進事業は不可欠であり、継続と拡充を要望した。JF全漁連からは、同事業が実現できたのは系統組織が力を合わせた結果であり、今後事業を存続していくためにも系統全利用を押し進め、さらなる力の結集が肝要であると結んだ。宮崎からは購買事業部の西山・盛田が出席した。来年は熊本県での開催予定。



E-KANPACHI
E-かんぱち

4つの「e」でさらに美味しく、安全に。

カンパチは同種のおりより比べ、脂質が低いため、お刺身やお寿司など生食では定評があるものの、煮物や焼き物の用途は少ない食材と言えます。逆に脂質が高いと酸化や変色が早く、歯ごたえが失われたり、時には餌に含まれる養殖魚特有の臭いを感じる場合があります。そこで新たに養殖魚から一貫してEP飼料で育てた「E-かんぱち」が誕生しました。

「E-かんぱち」は、通常のカンパチよりも脂質が非常に高く様々な料理の用途が広がったにもかかわらず、酸化や変色が遅く、しかも歯ごたえが失われないという試験結果を得ました。また試食による官能試験では、臭いを感じないという意見を多く頂きました。さらにEP飼料を給餌する事で、一年を通し品質が安定し、履歴が明確な事からよりレベルの高い安全性を確立しています。

「E-かんぱち」は、これまで養殖カンパチの弱点とされてきた部分を克服したとも言える優秀な品質のカンパチです。

- ep** 種魚から一貫してEP飼料のみで育てます。
- ecology** 自然環境にやさしいエコな餌で海を汚しません。
- excellent** 優秀な品質に育ち、甘みと旨みの高い肉質となります。
- enjoy** 食卓で安心して楽しんでいただけるカンパチです。

○EP飼料とは

EPとは「エクストロッド・ペレット」の略で、特殊な技術を用いて配合飼料を固形化、発泡させた人工飼料です。環境にも優しく、様々な基準をクリアしているため安全性や、一年を通じ肉質の安定に役れています。カンパチには不向きな餌とされてきましたが、EP開発の研究や養殖技術の進歩に伴い、実用性の高い餌として今後も期待されています。

BUSINESS

宮崎イセエビを**食**べよう!! (宮崎イセエビいただきマンス'14 始まる!!)

宮崎のさかなビジネス拡大協議会では、県漁連、漁協や商工観光団体等と連携して、国内有数の生産量を誇り、人気のある「イセエビ」に焦点をあて、9月の漁解禁から11月末までの3ヶ月間を「宮崎イセエビいただきマンス」と銘打ち、期間内に県内で開催されるイセエビのイベントや料理店等の情報を発信し、宮崎の魚の認知度向上や消費・ビジネス拡大等を図ることとしています。
概要は、次のとおりです。



<p>①県政番組テレビ放映</p>	<p>8月30日、31日の県政番組(MRT「おしえて!みやざき」、UMK「みやざきゲンキTV」)での視聴者プレゼントとして、応募、抽選によりイセエビをプレゼントすることにより、さらなるイセエビの浸透を図り、宮崎の魚の消費やビジネス等の拡大に繋げていくことにしています。</p>
<p>②知事表敬訪問によるPR</p>	<p>9月9日(火)、東九州伊勢えび海道実行委員会及び日南海岸伊勢えび大漁まつり実行委員会等が、合同で河野宮崎県知事を表敬訪問して、トップによるイセエビPRを、メディアを活用して行うこととされています。</p>
<p>③HP掲載情報</p>	<p>8月末から、下記のイベントや料理店情報を掲載してPRを図ることとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内漁協等イセエビ関連のイベント等 ・東九州伊勢えび海道 参加店(8店) ・日南海岸伊勢えび大漁まつり 参加店(18店) ・漁協直営レストラン等(6店) ・上記以外の県内外イセエビ料理店等 <p>※詳しくは宮崎イセエビいただきマンスで検索して下さい</p>
<p>(取扱、問合せ先)</p>	<p>宮崎のさかなビジネス拡大協議会 担当 柏田 宮崎市港2丁目6番地 TEL0985-28-6111</p>

JF
JFグループ

これからもよろしく大漁オイル

キヨレンオイル
大漁
シリーズ

JF
JFグループ

これからもよろしく大漁オイル

キヨレンオイル
大漁
シリーズ

※主なイベント等

NO	開催期間等	イベント名称等	問合せ先
①	9月1日(月)～11月30日(日)	日南海岸伊勢えび大漁まつり	電話 0987-31-1134 (社)日南市観光協会
②	9月7日(日)～11月30日(日)	東九州伊勢えび海道伊勢えびまつり	電話 0982-29-2155 (社)延岡観光協会
③	9月7日(日) 9:00～14:00	内海港いせえび祭	電話 0985-65-1011 宮崎市漁協(青島本所)
④	9月14日(日) 9:00～14:00	青島漁港いせえび祭り	電話 0985-65-1011 宮崎市漁協(青島本所)
⑤	9月14日(日) 10:00～14:00	なんごう伊勢えびまつり	電話 0987-64-1581 港の駅めいつ
⑥	9月21日(日) 10:00～12:00	都農町漁協イセエビ販売	電話 0983-25-0028 都農町漁協 電話 0983-25-5721 都農町役場産業振興課
⑦	9月21日(日) 6:00～9:00	串間市漁協『福島港』イセエビ祭	電話 0987-72-0020 串間市漁協
⑧	9月28日(日) 8:00～10:00	門川みんなと浜市	電話 0982-63-2123 門川町漁協 (門川町青壮年連絡協議会)
⑨	10月12日(日) 9:00～15:00	第20回海鮮!山鮮!きたうら市!	電話 0982-45-4238 延岡市北浦町総合支所地域振興課
⑩	9月、10月、11月	漁協直営レストラン等	宮崎イセエビいただきマンスで検索
⑪	9月、10月、11月	上記以外の県内イセエビ料理店等	宮崎イセエビいただきマンスで検索

ナチュラルミネラルウォーター


美泉水

お問い合わせ先

本所業務部 0985-28-6111

延岡支所 0982-37-0030

日南支所 0987-23-5231



衛生管理講習会が開催される!!

宮 崎の魚のビジネスや消費拡大等を図ることを目的として、宮崎のさかなビジネス拡大協議会主催で、マーケティング展開等に努めていく上で、極めて重要な食品衛生面につきまして、大日本水産会の手塚義博部長を招聘しまして、「水産加工における品質・衛生管理について」とのタイトルで、7月15日(火)宮崎県水産会館、7月17日(木)延岡市社会教育会館の2会場で、講習会が開催されました。

行政、漁協、関係団体、水産加工業者等60名程の出席者のもと、豊かな知識や経験等に裏付けられた講師の丁寧で優しい話し方等で、一見、とっつきにくそうな「食品衛生管理」等について、具体的な事例等を織り交ぜられて、安全・安心の商品提供がいかに重要かなどをわかりやすく説明されて、有意義な講習会となりました。

アンケート結果でも、非常にためになったという意見が、大半であり、好評な講習会となり、今後の宮崎のさかなビジネスの拡大等に大いに役立つ内容でした。

なお、講習会の要旨は、下記のとおりです。

記

8の基本的な衛生分野に留意すること

①水の安全性	いかなる水産加工作業においても、安全性に関してのもっとも重要な問題は、水の安全性である。
②食品と接触する表面の状態と清潔さ	食品や食品と接触する表面に触れる水、あるいは水の製造に使用される水の安全性に留意する。
③交差汚染の予防	事務所、作業場、更衣室等の施設は、同一建物内にあることが望ましい。
④手洗い設備や手の消毒の設備、トイレ設備の維持。	手洗場、手の消毒場、便所の設備の維持管理・手洗いが食品衛生の基本であり、重要である。
⑤食品と接触する表面を防御すること	潤滑油、殺虫剤、消毒剤等の留意点・覆いやすすぎ洗い等を完璧に行うと共に、換気をしっかりと行い、結露等を防ぐこと。
⑥適切な表示、保管、及び使用	有害加工物の適切な表示、保管、適切な表示を行うこと。
⑦従業員の健康状態のコントロール	規則正しい生活をして、自分の健康は自分で守ること。年に1度は定期健康診断を受診し、健康管理に努めること。
⑧有害小動物の駆除、侵入防止	食品工場からの有害小動物の駆除に努めると共に穴、配水管、その他侵入箇所の遮断を行い、有害小動物の侵入防止を図ること。

水産会館周辺を一斉清掃

毎 年、関係団体職員の協力のもと、ペイコムハート連絡会の主催による宮崎港周辺の一斉清掃を行っているが、本年は7月22日(火)の早朝、水産会館駐車場・周辺道路を中心に行った。

参加した約30名は、各自ゴミ袋と火ばさみを手にペットボトルや空き缶、弁当がらなどを収集した。

早朝とはいえ真夏の作業であり、皆汗だくになりながら約1時間程度で清掃は終了した。



コンプライアンス研修会

漁 連は7月23日(水)、水産会館第1研修室において「個人情報」と「事故・事件から学ぶ教訓」をテーマに研修会を開催した。

職員の法令遵守意識の向上を目的とした当研修会を、今年度内に3回計画しており、講師には倫理士でコンプライアンスアドバイザーとして活躍されている戸高栄作氏を招聘し、映像を使った研修を行った。

戸高講師からは世間で発生している事故や事件に関する事例の紹介や、個人情報保護の重要性について説明があった。

後半は組織内におけるコンプライアンス関連のDVDを鑑賞し、アンケート調査に回答する等、参加した職員27名は真剣な眼差しで受講していた。

次回は11月頃の開催を予定している。

平成26年度第1回管理職会議

漁 連は7月23日(水)、水産会館第一研修室において本年度第1回管理職会議を開催し、次の事項について報告及び協議をおこなった。

報告事項

- ①平成26年度6月末事業実績について
- ②役員の補欠選任について
- ③財務改善計画の修正について
- ④業務改善命令の解除について
- ⑤機構改革について
- ⑥諸規定の改正等について
- ⑦組織対策と経営指導について
- ⑧アクションプランの進捗状況について
- ⑨漁政活動について

協議事項

- ①各出先持寄り事項

平成26年度第1回安全衛生委員会

漁 連は、去る7月23日(水)、漁連会議室において安全衛生委員会を開催した。

当委員会は災害発生の防止及び職員の保健衛生の向上のため、毎年2回開催している。

今回は下記の事項について報告・協議がなされた。

報告・協議事項

- 安全衛生委員会委員の任命について
- 業務上発生した事故について(無事故として報告)
- インフルエンザ対策について
- 外浦製氷工場レーク装置の足場の設置について

平成26年度事業推進会議

漁連は、7月18日(金)、水産会館大研修室において26年度の事業推進会議を開催した。

この会議は、総合的な運営概要説明と購買事業、販売事業及び指導事業等の推進のため、単協より参事及び各部門担当者を招いて、例年開催している。

宇戸田会長挨拶の後、妹尾専務の司会で議事は進行し、資料を基に各担当者より説明を行った。

会議終了後は、全漁連より講師を2名招聘し、講演を行った。議事及び講演の内容は以下の通り。



議事内容

- ①運営基本方針について
- ②経営管理方針について
- ③購買事業の推進について
 - イ.運営方針
 - ロ.石油
 - ハ.資材
- ④利用事業の推進について
- ⑤製氷事業の推進について
- ⑥販売事業の推進について
- ⑦指導事業の推進について
 - イ.経営指導
 - ロ.漁政・漁業振興対策
- ⑧アクションプランに基づく石油事業一元化について

講演

「JFグループの購買事業の意義と役割について」

講師：全国漁業協同組合連合会

参事 岩山裕史氏

「最近の石油情勢」

講師：全国漁業協同組合連合会

購買事業部次長 新塘博文氏

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF 共済

手コ くらし カサテ リコ

ねんきん ランシヨ なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>

藻場造成活動の成功例 ～北浦ハイの浜における取組～

- 増養殖部 -

はじめに

「藻場」は、魚介類の産卵や生育の場となる上、海水の浄化機能もあります。ところが全国的に、また本県でも、この藻場が衰退する「磯焼け」が発生しています(図1)。

「磯焼け」の主な原因は、冬から春の水温上昇に伴うウニや海藻を食べる魚の食べる量の増大による、喰う・喰われる関係のバランス崩壊によるものと考えられています。

このような中、漁業者が主体となって取り組む藻場の造成活動について、平成22年度から環境・生態系保全活動支援事業、また平成25年度からは水産多面的機能発揮対策事業にて支援が行われており、現在県内各地で取組が行われています。

自然が相手の取組のため、各活動域での現状や課題は様々ですが、地道な活動により小型海藻の回復などの成果が認められています。今回、この藻場造成活動の成功例として北浦ハイの浜における取組を紹介します。

主な取組内容

1.ウニ除去

平成22年度からハイの浜での磯焼け域に活動域を設定し、素潜りによりウニ除去を行っています(図2)。

毎年、継続的に行うことで再進入するウニを除去し、密度管理を行っている活動域を徐々に広げています。

平成25年度は延べ58人・日で約74,000個体のウニ除去を行いました。



図1 磯焼け域の景観



図2 ハイの浜の活動域

2.ウニハードル設置

平成23年度から海底にウニハードルを設置しています(図3)。

設置は活動域を区切るように、微速航行する船上から海中にハードルの一端から投入し、潜水作業によりハードルの下部を転石の隙間にはめ込んで固定しました。

これにより、活動域へのウニの再進入を阻害するとともに、潜水による活動においては区域を示す目印となっています。



図3 ウニハードル

これまでの成果

藻場造成活動に取り組む前の平成21年度の藻場面積調査では、クロメ、ホンダワラ類、アマモ等、複数の大型海藻による2.0haの藻場が残存しており(図4 茶色部分)、ハイの浜内で、その藻場とウニが過剰に生息する磯焼け域が隣接している状態でした。取組が開始され、継続的に磯焼け域のウニの密度を適正に保った結果、平成26年度の調査では6.2haと3倍以上の藻場の造成が確認されました(図5 青色部分)。喰う・喰われる関係のバランスが保たれた海域に、残存していた藻場からタネが供給され、回復に至ったものと考えられます。

また、ウニの身入りに着目し、平成25年度に活動域内外のウニ各20個体分の可食部となる生殖巣の全体重量に対する割合を調べたところ、活動域内の身入りの割合は活動域外のものと比較し、2倍以上となりました(図6,7)。これまで餌不足により生殖巣の発達が不十分だったものが餌となる海藻が回復したことにより改善したものと考えられます。このように、藻場の回復に加え、ウニの身入り改善の観点からも、北浦ハイの浜は藻場造成活動の効果が大きく表れています。



図4 平成21年度の藻場面積



図5 平成26年度の藻場面積

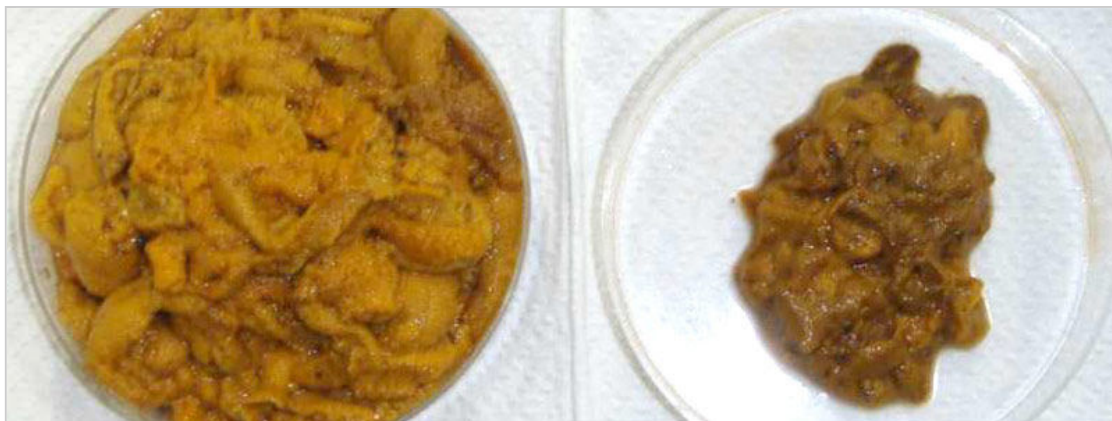


図6 ウニ20個体分の生殖巣(左:除去域、右:除去域外)

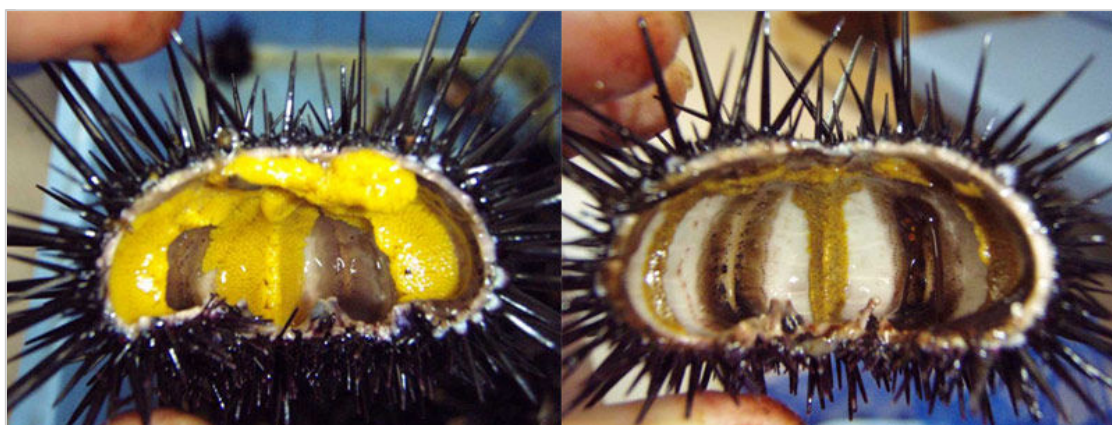


図7 ウニの生殖巣例(左:除去域、右:除去域外)

終わりに

今回、藻場造成活動の成功例として、北浦ハイの浜における取組を紹介しました。同地区では継続的なウニの密度管理により、大型海藻の藻場回復に成功しましたが、どの場所でもウニを除去すれば大型海藻の藻場が回復するというものではありません。海藻を食べる魚の影響が大きい場所ではその対策を行う必要がありますが、その対策方法は未だ確立されておらず、そういう場所に大型海藻の藻場を回復させるのは今のところ困難です。ただ、大型海藻の藻場回復に至らずとも、磯焼け域に過剰に生息するウニを除去すれば、喰う・喰われる関係のバランスの回復に繋がって小型海藻が回復し、それが餌となり、ウニの身入り改善に繋がることは多くの場所で確認できています。つまり、ウニ除去によるウニ漁場の復興が可能であり、現在各地で行われている藻場造成活動の活動域を、将来的にウニ漁場として利用し、収入に繋げることで、継続的なウニ密度管理が期待出来ると考えています。今後も、漁業者が主体となる藻場造成活動について、関係者と一緒に支援していきたいと考えています。

7月の動き(県関係)

7日

宮崎県藻場干潟等保全地域協議会 通常総会(宮崎市)



宮崎県藻場干潟等保全地域協議会 平成26年度通常総会

7月7日に宮崎県庁6号館631号室にて、平成26年度宮崎県藻場干潟等保全地域協議会通常総会が開催された。以下のとおりの4議案について協議が行われ全議案が承認された。なお、平成25年度活動実績の概要は、地域協議会ホームページで紹介されている。

第1号議案	平成25年度事業実績及び収支決算について
第2号議案	活動組織の採択変更申請について
第3号議案	平成26年度事業計画及び収支予算について
第4号議案	地域協議会事務の一部委託について

平成26年度九州地区漁港漁場大会

平成26年度九州漁港漁場大会が去る7月17日(木)佐賀県唐津市唐津市民会館において、参加者500名(本県参加62名)の下開催された。大会では各県より、以下の議題が提出され可決された。

- ①漁港漁場整備長期計画の着実な推進と財源の確保について
- ②社会資本整備重点計画(海岸事業)の推進による防災機能の充実について
- ③漁港・漁場・漁村の環境整備の促進について

また、全国漁港漁場大会提出議案についても附議され、満場一致で可決された。
なお、次期開催県については長崎県に決定した。大会終了後、呼子漁港の視察を行った。

7月の動き

5日	お魚料理講習会(須木中学校)	23日	管理職会議
14日	販売担当者会議	23日	安全衛生委員会
17日	お魚料理講習会(都城農業高校)		コンプライアンス研修会
18日	事業推進会議	25日	お魚料理講習会(日南市教育委員会)

